



MGU Chapel Letter

—第 45 号 2025 年 1 月 8 日— 発行：大学宗教センター



* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



1 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 1 月 6 日（月） 松本 周（一般教育部准教授）
- ・ 1 月 8 日（水） 東 義也（尚絅学院大学教授）
- ・ 1 月 10 日（金） 佐々木哲夫（学院長・宗教総主事）
- ・ 1 月 15 日（水） 栗原 健（大学宗教センター長）

今年度の大学礼拝は 1 月 15 日で終了となります。注意しましょう。

令和 6 年能登半島地震から 1 年が経ちました

石川県珠洲市・輪島市等を中心に大きな被害をもたらした能登半島地震から、1 年が過ぎました。昨年 9 月後半には豪雨による水害や土砂崩れも発生し、復興には時間を要しています。引き続き被災者の方々をおぼえてお祈りすると同時に、各機関を通じて継続されている支援活動に積極的に協力しましょう。持続的なサポートが必要になります。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp

難民となったイエス



あけましておめでとうございます。いよいよ年が明けて 2025 年となりました。今年はどんなことにチャレンジしようか、何を学んで行こうかと、希望に胸をふくらませている人も多いと思います。

と同時に、日々のニュースを見ながら、世界の将来について不安を抱いている人もいるかも知れません。震災から 1 年が過ぎた能登の被災地では、現在も多くの人々が苦しんでいます。地震のために習い事やスポーツを楽しめる場が無くなり、子どもたちの間で「体験格差」が起きているとの報道もあります。ウクライナやガザでは戦闘が止むことなく続き、多くの人々が難民となっている状態です。こうした悲しい現状を見ると、明るいものよりも暗闇のほうに目を向けたくなくなってしまいます。

ここで思い出したいのが、新約聖書に描かれている、クリスマス後の幼子イエスの物語です。マタイによる福音書 2 章によると、「ユダヤ人の王として生まれた者」誕生の噂を聞いたヘロデ王（猜疑心が強いことで有名でした）は、「自分の王位を脅かす者が現れたのか」と疑い、イエスを殺そうとします。このため、幼子イエスと母マリアは、夫ヨセフに連れられて命からがらエジプトへと逃れました。いわば、イエスは生まれるや否や「難民」としての苦しみをなめたのです。

神は遠く離れた場所から人間を見下ろしているような存在ではなく、人間と共に苦しみ、痛みを一緒に担う存在である。それが、イエス・キリストの生涯が示している聖書の神の姿です。神がこのような存在であるから、私たちはなお希望を持つことができます。「光は暗闇の中で輝いている」（ヨハネによる福音書 1 章 5 節）と言われるように、神は私たちの暗闇のただ中にまで入って来て下さる存在なのです。

この 1 年、私たちはこの神の愛を豊かに受け取ると同時に、自らも光を分かち合う者、他者と支え合う者となって行きたいです。「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」（ローマの信徒への手紙 5 章 5 節）

（栗原健）



クリスマス献金へのご協力ありがとうございました

皆様のあたたかなご支援により、下記の額のクリスマス献金が集まりました。

(キリスト教センター) 203,510 円

(大学宗教センター) 105,131 円

(合計) 308,641 円

今年の献金は、下記の団体に送られる予定です。

【キリスト教センター分の献金先】(大きい献金袋を使用して捧げられたもの)

堀川愛生園、仙台キリスト教育児院、仙台いのちの電話、仙台YWCA、日本聾話学校、NPO法人ACE、国連UNHCR、日本基督教団中部教区、社会福祉法人牧人会、一般社団法人キリスト教保育連盟能登地区 など

【大学宗教センター分の献金先】(小さい献金袋を使用して捧げられたもの)

アジア学院、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)、アジアキリスト教教育基金(ACEF)、東北ふうどばんくAGAIN、聖霊学園高等学校、NPO法人みんなの居場所 など

